

受付番号	2023-22		
許可番号	大歯医倫 第 111282 号		
研究課題名	歯科衛生士教育における口腔内スキャナー実習の有用性 ―学生アンケート調査から―		
研究責任者	柿本 和俊	申請者	谷 亜希奈
研究終了日	2027 年 3 月 31 日		
所 属	医療保健学部 口腔工学科	所 属	医療保健学部 口腔保健学科
職 名	教授	職 名	助教

#### 申請の概要

現在、歯科医療におけるデジタル技術の導入が進められており、今後もさらに、拡大することが予測される。近年注目されているデジタル技術として、口腔内スキャナー（以下、IOS）が挙げられる。IOS による口腔の 3 次元記録は、口腔内装置の製作に留まらず、歯科医療における診査や治療などに広く利用されることが予測される。このような状況にあって、歯科医療の一翼を担う歯科衛生士が口腔内のデジタルデータの取得と応用法を学修し、今後のデジタル・デンティストリーに対応し、発展させる能力を習得することは重要であり、今後の歯科医療の発展に非常に大きな意義がある。

このような観点から、大阪歯科大学医療保健学部口腔保健学科では、昨年度から 3 年生の臨床実習に IOS に関する教育を取り入れている。しかしながら、歯科衛生士に対する IOS に関する教育については前例がなく、学生の意見や学修成果を検討しながら、教育内容を充実させる必要がある。

今回の研究では、IOS 実習の感想や歯科医療におけるデジタル技術の応用などに関するアンケート調査から、IOS 実習の有用性について検討する。